

第1章 はじめに

2014(平成26)年 11 月、「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、同年 12 月、国は、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。本県においても、同法第9条に基づき、2015(平成27)年 10 月に「まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略」(計画期間:2015(平成27)年度～2019(平成31)年度)、2020(令和2)年3月に「第2期まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略」(計画期間:2020(令和2)年度～2024(令和6)年度)(以下「第2期総合戦略」という。)を策定し、地方創生の取組を推進してきました。

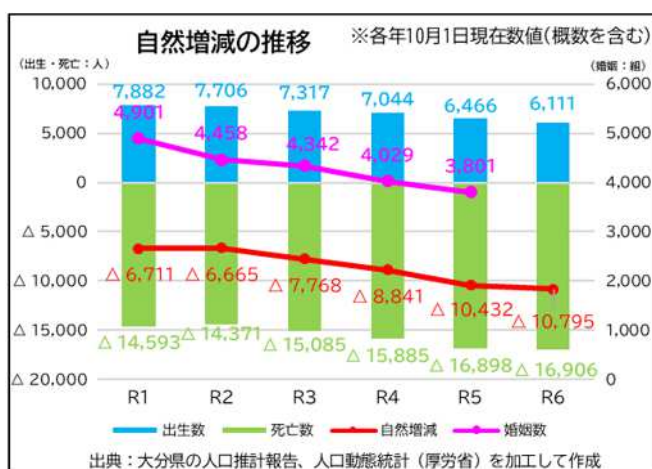
第2期総合戦略では、「Ⅰ 人を大事にし、人を育てる」、「Ⅱ 仕事をつくり、仕事を呼ぶ」、「Ⅲ 基盤を整え、地域を活性化する」の3つの政策分野において、68の重要業績評価指標(以下「KPI」)を設定し、関連する具体的な施策に取り組んできました。その結果、令和5年度末時点で達成率 80%以上(B評価以上)は、約9割にわたる 62 指標で達成する結果となりました。また、指標となっている取組以外にも、保育料の減免や子ども医療費の助成制度の拡充、不妊治療費の助成など、様々なサービスの充実も図ってきたところです。

【第2期総合戦略のKPI達成状況】 ※令和5年度末現在

政策分野	KPI 数	概ね達成した KPI 数
Ⅰ 人を大事にし、人を育てる	28	26
Ⅱ 仕事をつくり、仕事を呼ぶ	20	17
Ⅲ 基盤を整え、地域を活性化する	20	19

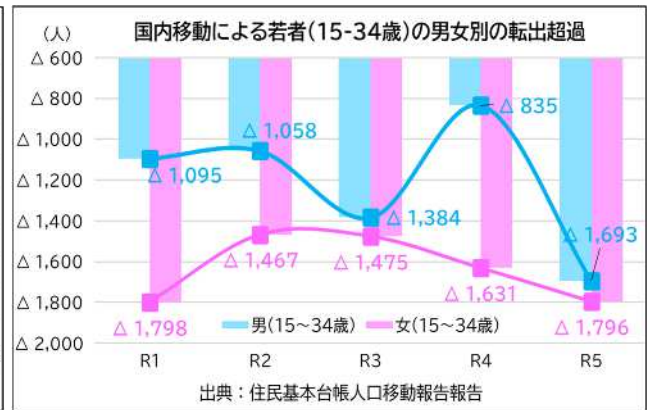
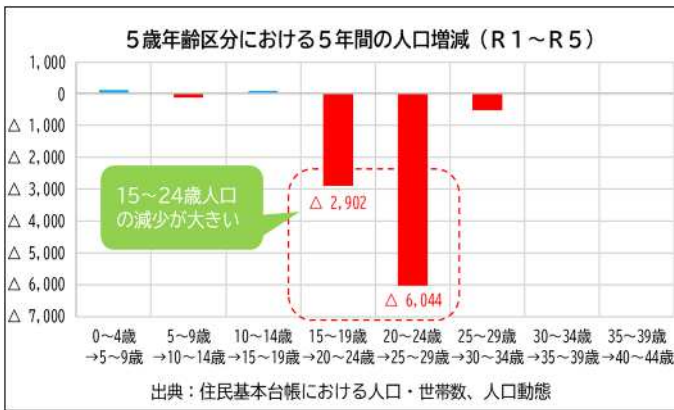
しかしながら、本県のみならず全国的に出生数の減少に歯止めはかかっておらず、当分の間は人口減少を覚悟しなければならない状況です。

また、社会増減では、外国人の増加により、令和4年は社会増、令和5年もわずかに社会増と大きく改善しています。一方で、これを年齢区分別でみると、この5年間の社会減は5,922人に対し、15～24歳の人口が8,946人と大幅に減少しており、若者及び女性を中心とした県外流出が続いている状況から、その流出抑制が急務となっています。



5か年を通じて自然減となっており、出生数の減少と死亡数の増加によりマイナス幅が拡大し、直近2年は1万人を超える自然減となっている

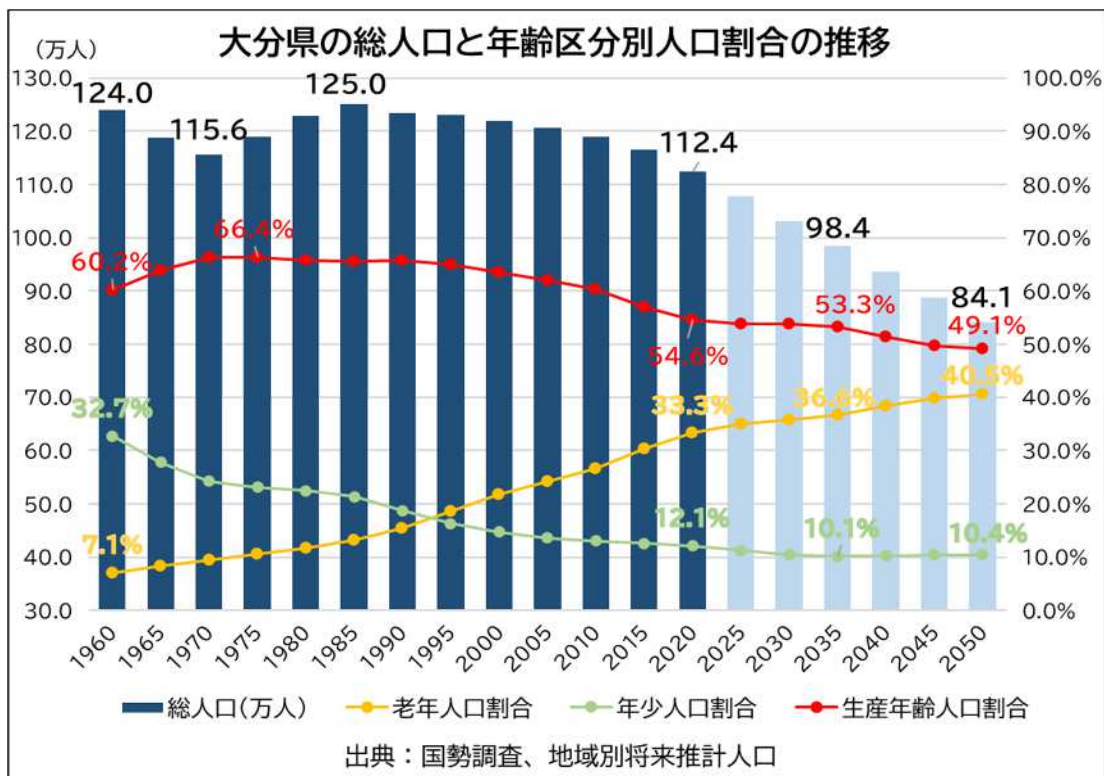
外国人の海外からの転入により令和4年と令和5年は2年連続で社会増となるも、5年間を通じて日本人は転出超過となっている



5年間で5歳年齢区分の人口増減をみると、15～19歳及び20～24歳の人口減少が突出している

若者の転出超過を男女別で見ると、男性より女性の転出超過が大きい傾向がみられる

国立社会保障・人口問題研究所の地域別将来推計人口では、本県の総人口は、2020年の約112.4万人から2035年には98.4万人と100万人を下回り、2050年には約84.1万人まで減少する推計となっています。人口割合をみると、生産年齢人口割合は2020年の54.6%から2050年には49.1%と減少する一方、老年人口割合は2020年の33.3%から40.5%に増加をする見込みとなっています。



また、市町村別の将来推計人口をみると、2050年に4市町で人口が半減し、生産年齢人口割合は16市町村で5割を下回り、高齢化率では、10市町村で5割を超える見通しとなっています。このように、当分の間、総人口や生産年齢人口の減少が見込まれるなか、外国人など多様な人材の活躍・定着による担い手確保や、デジタル技術等を活用した地域の持続的発展なども喫緊の課題となっています。

県と市町村別の将来推計人口

(単位:人,%)

	総人口			生産年齢人口				老年人口			
	2020年	2050年	増減率	2020年	人口割合	2050年	人口割合	2020年	人口割合	2050年	人口割合
大分県	1,123,852	841,343	-25.1%	613,637	54.6%	412,914	49.1%	373,886	33.3%	340,708	49.1%
大分市	475,614	415,875	-12.6%	280,585	59.0%	216,449	52.0%	131,461	27.6%	152,452	36.7%
別府市	115,321	84,031	-27.1%	62,950	54.6%	41,469	49.3%	40,275	34.9%	34,611	41.2%
中津市	82,863	69,547	-16.1%	46,674	56.3%	36,706	52.8%	25,214	30.4%	24,882	35.8%
日田市	62,657	38,839	-38.0%	32,460	51.8%	17,084	44.0%	22,419	35.8%	17,818	45.9%
佐伯市	66,851	35,779	-46.5%	32,356	48.4%	14,074	39.3%	27,511	41.2%	18,871	52.7%
臼杵市	36,158	19,842	-45.1%	17,562	48.6%	8,024	40.4%	14,853	41.1%	10,269	51.8%
津久見市	16,100	6,800	-57.8%	7,438	46.2%	2,509	36.9%	7,242	45.0%	3,873	57.0%
竹田市	20,332	9,699	-52.3%	8,708	42.8%	3,725	38.4%	9,814	48.3%	5,264	54.3%
豊後高田市	22,112	15,895	-28.1%	11,103	50.2%	7,743	48.7%	8,573	38.8%	6,692	42.1%
杵築市	27,999	16,456	-41.2%	14,264	50.9%	6,782	41.2%	10,694	38.2%	8,284	50.3%
宇佐市	52,771	35,431	-32.9%	27,137	51.4%	16,558	46.7%	19,464	36.9%	15,393	43.4%
豊後大野市	33,695	18,093	-46.3%	15,392	45.7%	7,166	39.6%	14,934	44.3%	9,537	52.7%
由布市	32,772	25,542	-22.1%	17,388	53.1%	12,740	49.9%	11,214	34.2%	9,733	38.1%
国東市	26,232	14,119	-46.2%	12,575	47.9%	5,640	39.9%	11,330	43.2%	7,582	53.7%
姫島村	1,725	558	-67.7%	650	37.7%	128	22.9%	942	54.6%	404	72.4%
日出町	27,723	23,163	-16.4%	15,374	55.5%	11,426	49.3%	8,545	30.8%	9,025	39.0%
九重町	8,541	4,159	-51.3%	3,786	44.3%	1,605	38.6%	3,858	45.2%	2,217	53.3%
玖珠町	14,386	7,515	-47.8%	7,235	50.3%	3,086	41.1%	5,543	38.5%	3,801	50.6%

出典：地域別将来推計人口

こうした中、県行政の長期的、総合的な指針を示す最上位計画として令和6年(2024年)9月に策定した「安心・元気・未来創造ビジョン2024」においては、基本目標に「誰もが安心して元気に活躍できる大分県」、「知恵と努力が報われ未来を創造できる大分県」を掲げ、実現に向けた取組を安心・元気・未来創造の3分野に分けて進めているところです。

「第3期まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略」(以下「第3期総合戦略」という。)は、人口の現状及び将来の見通しに加え、第2期総合戦略の成果や課題を踏まえ、「安心・元気・未来創造ビジョン2024」の中から、地方創生に関連する施策を集中的・重点的に推進するための計画として策定します。

人口減少の流れを変えることは容易ではありませんが、第3期総合戦略により、引き続き市町村とも緊密に連携しながら粘り強く取り組むことで、国立社会保障・人口問題研究所の推計では100万人を割り込む2035年に100万人の維持を目指します。